

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理歴史・世界史 B	単位数	4(前期2+後期2)
		学年等	平日登校コース・3 年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性・複合性と現代世界の特徴を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を身に付け、課題を考察することができる。
使用教科書 副教材等	詳説世界史 改訂版(山川出版社) アカデミア世界史(浜島書店) 世界史 重要語句 Check List (啓隆社)

2 評価の観点等

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性・複合性や現代世界の特徴を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現することができる。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、それらの知識を活用することができる。
評価割合	25%	25%	25%	25%

3 評価の計画

学期	単元	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
前期	序章 先史の世界	・授業での行動観察 ・提出課題	・定期考査等 ・提出課題
	第1章 オリエントと地中海世界		
	第2章 アジア・アメリカの古代文明	12.5%	12.5%
	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	資料活用の技能	知識・理解
後期	第4章 イスラーム世界の形成と発展	・定期考査等 ・提出課題	・定期考査等 ・提出課題
	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展		
	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	12.5%	12.5%
	第7章 アジア諸地域の繁栄		
	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	・授業での行動観察 ・提出課題	・定期考査等 ・提出課題
	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立		
	第11章 欧米における近代国民国家の発展	12.5%	12.5%
第12章 アジア諸地域の動揺	資料活用の技能	知識・理解	
第13章 帝国主義とアジアの民族運動	・定期考査等 ・提出課題	・定期考査等 ・提出課題	
第14章 二つの世界大戦			
第15章 冷戦と第三世界の独立	12.5%	12.5%	
第16章 現在の世界			

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	序章 先史の世界	8
	5	第1章 オリエントと地中海世界	8
		第2章 アジア・アメリカの古代文明	8
	6	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	8
	前期中間考査.....	1
	7	第4章 イスラーム世界の形成と発展	8
		第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	8
	8	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	8
		9	第7章 アジア諸地域の繁栄
前期期末考査.....		1
		前期の学習のまとめ	4
後期	10	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	6
		第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	6
	11	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	7
		第11章 欧米における近代国民国家の発展	7
	12	第12章 アジア諸地域の動揺	6
	後期中間考査.....	1
	1	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	8
		第14章 二つの世界大戦	8
	2	第15章 冷戦と第三世界の独立	8
		第16章 現在の世界	8
3後期期末考査.....	1	
		後期の学習のまとめ	4

5 その他

私たちは皆、この世界、そして地球社会の一員です。世界史Bでは、世界のさまざまな歴史や文化を深く理解しましょう。そして、今後の世界や地球の在り方について一緒に考えていきましょう。世界のさまざまな歴史や文化、考え方をすることは自分自身を高めることにもつながります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理歴史・日本史A	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件と世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察することによって、歴史的思考力を身に付け、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を身に付け、課題を考察することができる。
使用教科書 副教材等	日本史A 改訂版(山川出版社) 日本史A 改訂版 ノート(山川出版社)

2 評価の観点等

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
趣旨	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現することができる。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取りたり図表などにまとめたることができる。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、それらの知識を活用することができる。
評価割合	25%	25%	25%	25%

3 評価の計画

学期	単元	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
前期	序章 近世社会の動揺と近代への胎動 第1章 開国と明治維新 第2章 立憲国家の成立	・授業での行動観察 ・提出課題	・授業での行動観察 ・提出課題
		12.5%	12.5%
		資料活用の技能	知識・理解
		・定期考査等	・定期考査等
		12.5%	12.5%
後期	第3章 第一次世界大戦と日本 第4章 昭和の恐慌と満州事変 第5章 第二次世界大戦と日本 第6章 占領下の日本 第7章 経済繁栄と保守長期政権 第8章 現代の世界と日本	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
		・授業での行動観察 ・提出課題	・授業での行動観察 ・提出課題
		12.5%	12.5%
		資料活用の技能	知識・理解
		・定期考査等	・定期考査等
		12.5%	12.5%

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数		
前期	4	序章 近世社会の動揺と近代への胎動 1 幕藩体制の動揺と政治改革 2 新しい経済構造と学習の芽生え 3 日本をとりまく世界の変容	1 1 1		
	5	第1章 開国と明治維新 1 アジアの激動と日本の開国 2 江戸幕府の滅亡 3 明治維新	3 3 3		
		6	4 富国強兵 5 明治初期の外交	2 2	
			前期中間考査		1
	7	6 殖産興業と文明開化	2		
		第2章 立憲国家の成立 1 自由民権運動 2 立憲制の成立 3 立憲政治の展開 4 日清・日露戦争	2 2 2 2		
	8	5 産業革命と社会の変容	3		
	9	6 明治の文化	1		
	前期期末考査		1		
	前期の学習のまとめ		3		
	後期	10	第3章 第一次世界大戦と日本 1 政党政治の展開 2 ワシントン体制 3 経済・社会の変容	3 2 3	
			11	4 市民文化	2
				第4章 昭和の恐慌と満州事変 1 恐慌の時代 2 政党内閣期の内政と外交 3 軍部の台頭	2 2 2
		12	後期中間考査		1
1		第5章 第二次世界大戦と日本 1 日中戦争 2 重化学工業化と統制経済 3 第二次世界大戦と太平洋戦争	2 2 3		
		2	第6章 占領下の日本 第7章 経済繁栄と保守長期政権 第8章 現代の世界と日本	3 3 2	
		後期期末考査		1	
3		後期の学習のまとめ	2		

5 その他

日本史 A は選択必修科目で、日本の幕末以降の近現代史を中心に、日本の歴史、社会及び文化について学びます。歴史を学ぶことは、自分の視野や考え方を広げることができ、政治、経済、社会に対する考え方をより深めることができると思います。ぜひ興味を持って意欲的に取り組んでください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理歴史・地理A	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付け、課題を考察することができる。
使用教科書副教材等	高校生の地理A(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院) 高校生の地理Aノート(帝国書院)

2 評価の観点等

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
趣旨	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責務を果たそうとする。	現代社会の諸地域における諸課題に対して歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、地理的な見方や考え方をを用いて判断・表現することができる。	現代社会の諸地域における諸課題に対して、その課題解決のために必要な資料を収集・選択し、それらを読み取り解釈することができる。	世界の諸事情を系統地理的に考察し、現代世界の諸課題について地球的視野から理解することができる。
評価割合	25%	25%	25%	25%

3 評価の計画

学期	単元	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
前期	[第1部 現代世界の特色と世界の諸地域の課題] 1章 旅からとらえる現代世界 2章 世界の自然環境と文化	・授業での行動観察 ・提出課題	・授業での行動観察 ・提出課題
		12.5%	12.5%
		資料活用の技能	知識・理解
		・提出課題 ・定期考査等	・提出課題 ・定期考査等
		12.5%	12.5%
後期	3章 世界の諸地域の生活・文化 4章 地球規模で広がる課題 [第2部 身近な地域の課題] 1章 身近にあるさまざまな地図 2章 日本の自然災害と防災 3章 身近な地域の課題と地域調査	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
		・授業での行動観察 ・提出課題	・授業での行動観察 ・提出課題
		12.5%	12.5%
		資料活用の技能	知識・理解
		12.5%	12.5%
		12.5%	12.5%

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	[第1部 現代世界の特色と世界の諸地域の課題] 1章 旅からとらえる現代世界 ①旅の目的はいろいろ ②海外旅行を身近にしたもの ③丸い地球と平らな地図	12
	5	④緯度が違うと何が違う ⑤経度が違うと何が違う ⑥ほかの国にはいるということは ⑦日本の領域と領土問題 ⑧国どうしのまとめり ⑨モノの産地はいろいろ	
	6	2章 世界の自然環境と文化 1節 地形 ①躍動する大地 ②川がつくる地形 ③海岸でみられる地形	4
	前期中間考査	1
		④氷河地形・カルスト地形	14
	7	2節 気候 ①地域による気候の違いと人々の生活 ②熱帯の気候と人々の生活 ③乾燥帯の気候と人々の	
	8	生活 ④温帯の気候と人々の生活 ⑤亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	
	9	3節 文化 ①宗教・言語と人々の生活 ②生活文化のグローバル化	1
	前期期末考査	
		前期の学習のまとめ	3
後期	10	3章 世界の諸地域の生活・文化 1節 中国	16
	11	2節 韓国 3節 東南アジア	
	12後期中間考査	1
		4節 南アジア	6
		5節 中央アジア・西アジア・北アフリカ 6節 サハラ以南のアフリカ 7節 ヨーロッパ	
		8節 ロシア 9節 アメリカ合衆国	
	1	10節 ラテンアメリカ 11節 オセアニア	4
		4章 地球規模で広がる課題	
		[第2部 身近な地域の課題] 1章 身近にあるさまざまな地図	1
	2	2章 日本の自然災害と防災 1節 日本の自然環境 2節 防災の取り組み	2
	3章 身近な地域の課題と地域調査	2	
後期期末考査	1	
3	後期の学習のまとめ	2	

5 その他

基本的な世界地図や日本地図の位置を事前に学習しておいてください。授業でプリントを綴じるため、穴あきファイルを用意しておいてください。